

募集代理店



引受保険会社



投資型年金保険

ベストツインズ

のび太とふえ太

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)

2012年度 特別勘定の現況 (世界分散型40MU(509))

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用
状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/life/>

お問い合わせ先 **0120-153-193**

<受付時間> 月～金 9:00～19:00

土 9:00～17:00

(日・祝日、年末年始の当社休業日を除く)



【利用する投資信託の委託会社】三菱UFJ投信株式会社

三菱UFJ投信株式会社は、2005年10月の合併により、幅広い商品ラインアップと充実した販売網、そして様々な商品カテゴリーに対応できる運用体制を確立いたしました。

引き続き、広くお客さまのニーズと信頼にお応えし、質の高い運用とサービスを誠実にご提供することを目指して参ります。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の現況(2012年度)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2012年4月 ~ 2013年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、大きく上昇しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比21.11%上昇の1,034.71ポイント(前期末は854.35ポイント)で終了しました。欧州債務問題の懸念などから下落して始まり、6月にはギリシャの再選挙結果などをを受け上昇に転じましたが、揉みあう展開が続きました。11月以降は、衆議院選挙後の新政権による大型景気対策や日銀への金融緩和と圧力などから反転し、大幅に上昇しました。1月以降は、キプロス救済を巡るユーロ圏の混乱などから揉み合う局面もありましたが、政府の大規模な緊急経済対策や円安の進行、日銀正副総裁人事の同意などをを受け金融緩和期待が高まったことなどから上昇して、今期を終えました。業種別(東証33業種)では、新政権のデフレ脱却策への期待から「不動産業」(前期末比+73.42%)が最も上昇した一方、大型増資やボーイング787の運航停止等が嫌気された「空運業」(同-25.38%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+10.34%上昇の14,578.54ドル(前期末は13,212.04ドル)で終了しました。欧州債務問題の懸念などにより下落した後、9月頃までは追加金融緩和の期待やFOMC(米連邦公開市場委員会)の量的緩和策の決定などから上昇基調で推移しました。11月中旬頃までは、IMF(国際通貨基金)の世界経済見通しの下方修正などにより下落基調で推移しましたが、1月には「財政の崖」問題が回避されたことなどにより上昇し、その後も良好な経済指標などから上昇基調で推移しました。欧州株式市場は、上昇しました。欧州債務問題を巡る進退や良好な経済指標などを背景に、概ね米国株式市場と同様の動きとなりました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+11.15%上昇、仏CAC40は同+8.98%上昇、独DAXは同+12.21%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、大幅に金利が低下しました。新発10年国債利回りは0.56%となりました(前期末は0.99%)。8月に国内消費税増税法案を巡る政局の混乱などから金利は上昇(価格は下落)する局面もありましたが、欧州債務問題などによる世界的なリスク回避姿勢などから金利は低下基調(価格は上昇)で推移しました。12月中旬以降は、大規模な財政出動による国債増発懸念などから金利は上昇に転じましたが、1月以降は金融緩和期待の高まりや、キプロス救済を巡るユーロ圏の混乱などから、金利は大幅に低下しました。日銀は、政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を年0.0%~0.1%程度で推移するよう金融市場調整を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、金利が低下しました。米10年国債利回りは1.85%となりました(前期末は2.21%)。7月にかけて欧州債務問題への懸念などから金利は低下基調(価格は上昇)で推移した後、良好な経済指標などから金利は上昇(価格は下落)する一方、追加金融緩和観測などから金利は低下するなど、今期後半は揉み合いながらも上昇基調で推移しました。欧州債券市場は、金利が低下しました。独10年国債利回りは1.29%となりました(前期末は1.79%)。欧州債務問題を巡るECB(欧州中央銀行)やユーロ圏各国当局の政策対応などから、今期を通して金利は揉み合いながら推移しました。FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00%~0.25%を維持しました。ECBは7月に政策金利を0.25%引き下げ、年0.75%としました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、円高基調で推移した後、今期後半にかけ円安が加速しました。米ドル/円相場は、前期末比11円86銭(14.43%)円安ドル高の1ドル=94円05銭となりました。今期前半は、欧州債務問題への懸念などから円高基調で推移しました。今期後半は、「財政の崖」問題が回避されたことや、衆議院選挙後の新政権のもとで日銀に対する金融緩和と圧力が一段と高まるなどの思惑、加えて日銀総裁の早期辞任により金融緩和が前倒しで実施されるとの観測などから円安が加速しました。ユーロ/円相場は、前期末比10円93銭(9.95%)円安ユーロ高の1ユーロ=120円73銭となりました。今期前半は、ECBによる政策対応への期待などから円安が進行する局面もありましたが、欧州債務問題への懸念などから円高基調で推移しました。今期後半は、キプロス救済を巡るユーロ圏の混乱などから円高となる局面もありましたが、ギリシャ支援協議の合意や日銀に対する金融緩和と圧力が高まるなどの思惑などから円安が加速しました。

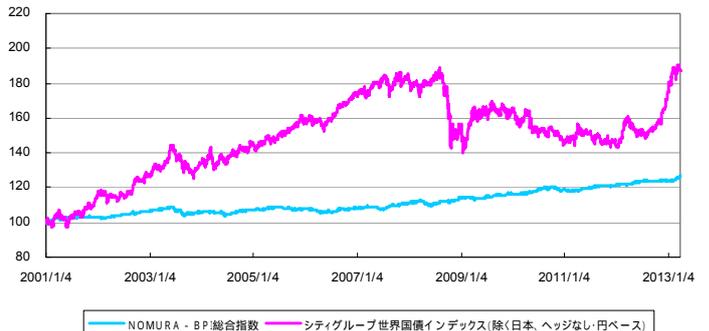
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

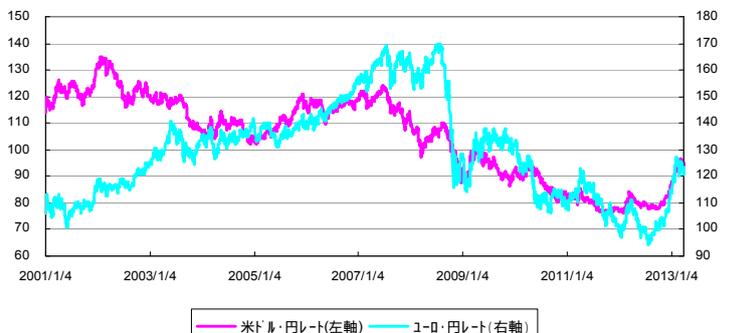


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 153 193

アクサ生命「AXA」 <http://www.axa.co.jp/life/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の現況(2012年度)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用方針および運用状況 [2013年3月末日現在]

特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型40MU(509)	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
三菱UFJ バランスファンドVA 40型 (適格機関投資家限定)	<p>当ファンドは、TOPIXマザーファンド受益証券20%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券30%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券20%、MUAMヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券15%および外国債券インデックスマザーファンド受益証券15%を標準資産配分とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。</p> <p>各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正し、標準資産配分を維持します。</p> <p>当ファンドの主なリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場リスク(価格変動リスク)(為替変動リスク) ・信用リスク ・流動性リスク

特別勘定の運用コメント (2012年4月1日 - 2013年3月末日)

2012年度のユニットプライスの騰落率は+12.25%となりました。

組入れている全ての資産が上昇しプラスに寄与しました。

資産配分に関しましては、標準資産配分を概ね維持し、2013年3月29日時点の当特別勘定が利用している投資信託における各資産の実質組入比率は、国内株式19.92%、国内債券30.05%、外国株式19.94%、外国債券(ヘッジあり)14.64%、外国債券(ヘッジなし)14.88%となっております。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率(%)	
2013年3月末	88.60	過去1ヵ月	2.59
2012年12月末	81.68	過去3ヵ月	8.48
2012年9月末	76.02	過去6ヵ月	16.55
2012年6月末	75.08	過去1年	12.25
2012年3月末	78.93	過去3年	9.11
2011年12月末	73.21	設定来	▲11.39

- ・世界分散型40MU(509)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年1月29日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40MU(509)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	16,501,808	99.4
現預金・その他	102,375	0.6
合計	16,604,183	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	5,379
有価証券売却益	-
有価証券評価益	360,615
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	▲1,955,035
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	146,997
収支差計	2,174,032

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 153 193

アクサ生命 ☎-46-7 http://www.axa.co.jp/life/

[取扱者(生命保険募集人)]

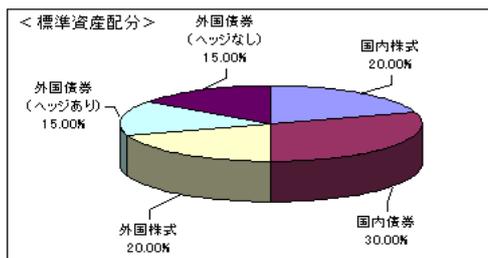
株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の現況(2012年度)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の運用状況 [2013年3月末日現在]

ファンドの特色



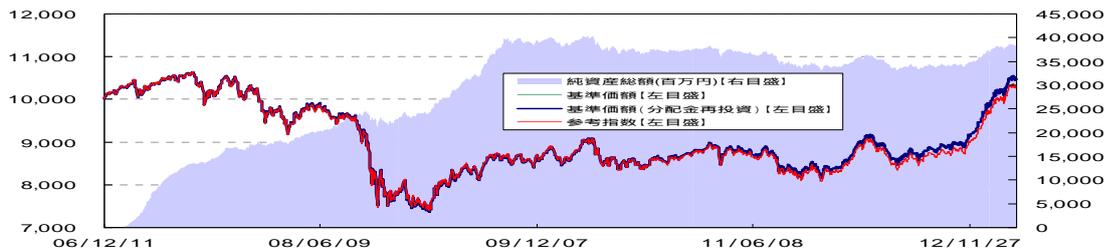
TOPIXマザーファンド受益証券、日本債券インデックスマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券および外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。

TOPIXマザーファンド受益証券20%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券30%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券20%、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券15%および外国債券インデックスマザーファンド受益証券15%を標準資産配分とし、これを維持します。

各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。
なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。

基準価格の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価格の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.294%(税抜0.28%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)20%、NOMURA - BPI総合インデックス30%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(円換算ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

概況

	2013/3/29	前月末	前月末比
基準価額	10,471円	10,186円	+285円
純資産総額(百万円)	38,084	37,817	+267

	基準価額	日付
設定来高値	10,644円	2007/7/20
設定来安値	7,363円	2009/3/10

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.80%	9.13%	17.96%	14.93%	16.99%	4.71%
参考指数	2.63%	8.84%	17.56%	14.14%	14.67%	2.63%
差	0.17%	0.29%	0.40%	0.79%	2.33%	2.08%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

資産構成

	標準資産配分	ファンドの資産構成
国内株式	20.00%	19.92%
国内債券	30.00%	30.05%
外国株式	20.00%	19.94%
外国債券(ヘッジあり)	15.00%	14.64%
外国債券(ヘッジなし)	15.00%	14.88%
短期金融資産	0.00%	0.57%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
(注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

分配金実績(税引前)

	直前期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2013/2/20	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

- ・1万円当たりの税引前分配金実績です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 153 193

アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

【積立期間中および年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5% ご契約時、特別勘定に繰り入れる前に、一時払保険料から控除します。
保険契約管理費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% 毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	特別勘定の運用等に必要の費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.294%程度(税抜0.28%程度)* 特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

*運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

【一般勘定年金支払期間中】

「年金払特約(06)」により遺族年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要の費用	年金額に対して 1.0%* 年金支払日に責任準備金から控除します。

*年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。一般勘定年金支払期間中は、他に「年金管理費」がかかります。

【その他の留意事項について】

受取総額保証金額(終身型)

受取総額保証金額の最低保証は、年金を特別勘定終身年金でお受け取りいただく場合に限られます。特別勘定終身年金以外の方法でお受け取りいただく場合や、積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。